

東新住建株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>東新住建株式会社では、国産材を利用しクリーンエネルギーを活用した木造住宅により環境にも人にも家計にもやさしい住まいの開発を進めています。また、多様化する社会に対応した柔軟な住宅設計により、全ての人に安心・安全な家づくりを提唱しています。地球と人が未来永劫に共生できる環境づくり及び循環型社会の実現が東新住建株式会社の理想であります。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 7, 13	<p>大容量の太陽光発電を分譲住宅に搭載しクリーンエネルギーを活用した、環境にも家計にもやさしい住まいを提供。</p>	<p>「定期借地権付き住宅」に太陽光発電を標準搭載している割合を、2025年に現在の85%から100%へ。</p>
	社会 1, 3, 5, 8, 10	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する社会に対応する家づくりとして、ひとり親・DINKs・LGBTQ+・おひとり様などの少人数世帯など、それぞれが持つ住宅選択における課題を「手の届く価格帯」や「専門アドバイザーによるトータルサポート」などで解決。 ・マイノリティ理解を深めるための活動へ積極的に参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する少人数世帯にマッチするコンパクトハウスの供給量を2025年に現在の150棟/年から400棟/年へ引き上げ。 ・2023年に開催予定のマイノリティ支援イベントへの協賛。
環境 3, 6, 11, 12, 13, 14, 15	<p>創業以来、全棟木造住宅にこだわり、国産材を用いて森の循環に貢献。</p>	<p>建築している分譲住宅での国産材投入率を2025年に現在の87%から100%に引き上げ。</p>	